

学校における働き方改革

校長 橋本 悦明

6月に入り、梅雨の足音がすぐそこに迫ってきています。先日行いました体育大会は、天候にも恵まれ無事開催することができました。当日は、たくさんの保護者・地域・ご来賓の方々に見ていただき、感謝申し上げます。5月の連休明けから約3週間、子どもたちも一生懸命取り組んだ結果、「やればできる」という成果を実感できたことと思います。これを次のステップにつなげていけるよう、全職員で取り組んでいく所存です。今後とも、よろしくお願いいたします。

さて、新聞報道等で既にご存じのことと思いますが、今年度より、尼崎市の教育長が替わりました。文部科学省からの出向で、松本眞（まつもと しん）教育長が着任されています。先日、市内の全校・園長で、研修会として、お話を伺う機会がありました。

ちょうど1年前の学校便りで、6月の「時の記念日」にかけて、教職員の勤務時間の適正化について書かせていただきました。今回の研修で、新教育長の松本先生からも、文部科学省でのキャリアを生かした「学校における働き方改革」のお話がありました。

日本人は、以前から働き過ぎの傾向があります。2014年の資料ですが、日本人の年間総労働時間は一人あたり平均1729時間で、イギリスは1677時間、フランスは1473時間、ドイツは1371時間となっています。日本の教員の総労働時間は、2015年の資料では、1891時間に達し、平均的な日本人の総労働時間より10%近く長くなっています。

本校も含め、小学校では6校時まで授業を行い、その後子どもを残して放課後学習を行います。会議があればその後実施し、その時点で勤務の終了時刻になってしまいます。しかし先生方は、その後も丸付けや教材研究、トラブル等気になることがあれば、保護者の仕事が終わるのを待つて電話対応や家庭訪問を行います。

教師の勤務には「残業」という言葉はなく、逆に、早く帰らなければならない「定時退勤日」という言葉があります。いかに残業が当たり前になっているかということです。

教師は夢を叶えてこの職業につき、目の前にいる子どもたちにとって、ふさわしい先生にならなければという気持ちを常に持っています。しかし、教師も人間ですし労働者です。家庭もあります。私は校長として、勤務時間が終了すれば早く帰らせたいと考えています。万全な状態で翌日を迎えて欲しいからです。保護者、地域の皆さまにもそのことを十分ご理解いただきたいと思っています。

本校の勤務終了時刻は午後4時45分、定時退勤日は毎週月曜日です。月曜日の午後5時半以降には教職員は誰も学校にいないことを改めて周知願います。



6月の行事予定

2	土	体育大会
3	日	体育大会予備日
4	月	代休日
5	火	朝会 給食中止日《弁当を持参してください。》
6	水	眼科検診（すみれ、1, 3, 5年生） なかよし交流会（立花南小学校）
7	木	耳鼻科検診（すみれ1, 2, 4年生）
8	金	社会見学（4年生 浄水場） 眼科検診（2, 4, 6年生） 救急法講習
11	月	引き渡し訓練（5校時終了後） 定時退勤日
13	水	歯科検診（1年生）
14	木	スクールカウンセラー
15	金	PTA 懇親会
17	日	書写コンクール席書大会
18	月	クラブ活動 水泳指導開始 定時退勤日
25	月	クラブ活動 定時退勤日
28	木	環境体験学習（4年生）
29	金	社会見学（3年生）

〈7月の主な行事〉

- 4日（水）～6日（金） オープンスクール
- 5日（木） 立花まつり
スクールカウンセラー
- 6日（金） 学級懇談会
- 17日（火） 給食最終日
- 20日（金） 終業式



《水泳指導開始》

6月18日（月）から水泳指導が始まります。自分のめあてに向かってチャレンジしてほしいものです。水泳は全身運動です。十分な睡眠と朝食をとるように家庭では留意してください。また、水泳参加に伴うたくさんの準備物についても、忘れ物のないように確認をお願いします。



【生徒指導だより】

◎生活チェックノートの「親から子へ」の記入、毎週ありがとうございます。「よくがんばりました」、「これからもがんばろう」「早寝ができるようになったね」など温かい言葉がしばしば見られ、子どもたちの励みになっています。わずか2行しか書く欄はありませんが、あたたかい言葉を書きただけで子どもたちのやる気を高めることができるのではないのでしょうか。

◎「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣はもう定着したでしょうか。これが1つでも欠けてしまうと、集中して学習に取り組んだり、友達と元気に遊んだりすることができません。体育大会も終わり、新たな目標をもって元気で気持ちよい一日を送ることができるよう、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

《ご声援ありがとうございました》

青空のもと体育大会を開催することが出来ました。どの学年も精一杯がんばりました。大きな声援や拍手をいただき、ありがとうございました。